

石川県立ろう学校長

釜親（かもや）　明子（あきこ）

石川県立ろう学校のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。
松原前校長より引き継ぎ、校長に就任しました釜親明子です。どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、明治 41 年、上森捨次郎氏の私立金沢盲亜学校開設に始まり、今年で１１３年目を迎えます。県内で唯一、聴覚に障害のある幼児児童生徒のための特別支援学校で、幼稚部から高等部専攻科（3 歳から 20 歳）までの幼児児童生徒がいます。
令和３年度４月は、幼稚部５名、小学部１１名、中学部４名、高等部１２名、専攻科３名の３５名でスタートしました。

本校の教育目標は「すすんで学び、挑戦する、たくましく心豊かな人間の育成」です。
今年度は　①授業実践力の向上、②安心・安全な学校づくり
③キャリア教育の推進、④新しい生活様式における業務改善、
の４点を重点目標に掲げ、取り組んで参ります。

本校では２００１年（平成１３年）度より、手話を共通のコミュニケーションとして取り入れ、自分の考えや気持ちを伝える力、相手の気持ちや考えを理解する力を育てています。
子供たち一人一人の聞こえの実態は大きく異なりますが、主体的・対話的で深い学びを通して、それぞれの持つ可能性を最大限に引き出せるよう、コミュニケーション手段を工夫し、ICT 機器等も活用しながら専門性の維持向上に努めて参ります。

「きこえの相談支援センター」では、0 歳児からの乳幼児相談、小中学生の通級指導教室、サテライト教室、補聴相談等を行うとともに、専門相談員派遣を実施しています。「難聴と診断された」「呼んでも振り向かない」「会話の行き違いがある」など聞こえに疑問や不安がある方は、どうぞ連絡をお願いします。

１１３年目を迎え、これまでの石川県立ろう学校の歴史と伝統を継承し、地域の皆様、医療、福祉、その他関係機関と連携を深め、新たな１ページを刻むべく教職員一丸となって取り組んで参りたいと思います。
今後とも、本校の教育にご理解とご協力をお願い申し上げます。